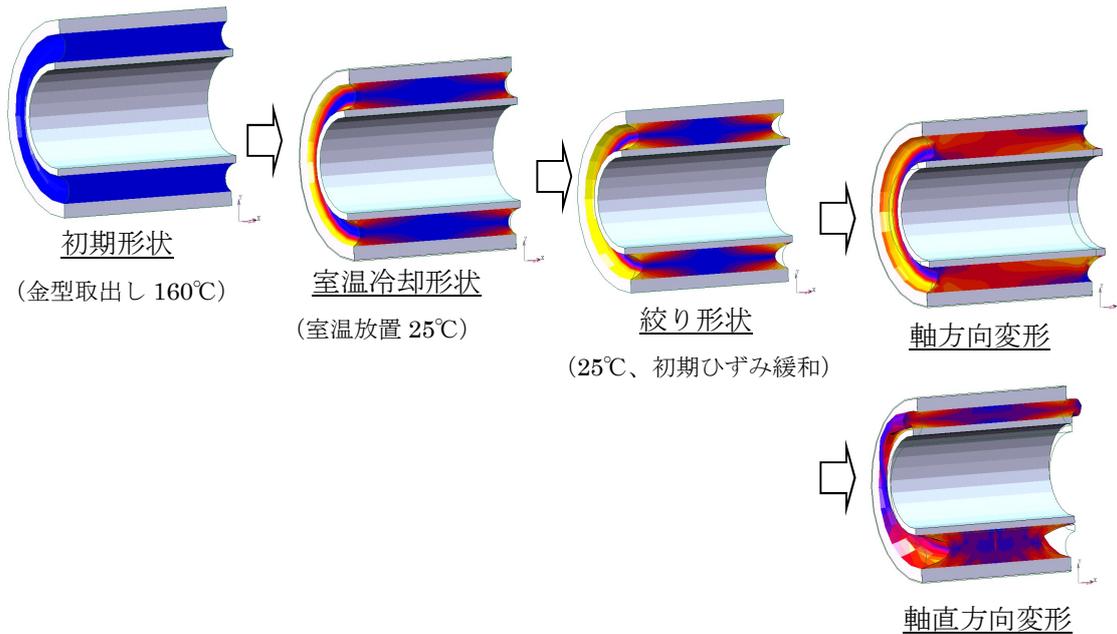


ASM013121-01 金具接着タイプゴム製品 の特性予測について

2013.1.21. CAE 海援隊 龍馬

金具接着タイプの特性予測において、加硫（成形）型から取り出した時の初期ひずみを考慮することは特性予測において重要である。初期のひずみを考慮しないと、予測精度は改善されない。実際の変形は、次のようになる。



下記グラフを見るとわかるように、熱収縮考慮の有無によって軸方向と軸直方向のばね線図が逆転する。

熱収縮を考慮した場合、特性予測（変位に対する荷重値）が±10%以内で出来ることは周知の事実である。線図の大小が逆転することから、軸/軸直方向のバネ比もそれに伴い大きくずれることが予測できる。

※予実データを示していないが、熱収縮を考慮しないと初期ひずみの影響から予測精度は向上しないことがわかっている。

